

令和 5 年度

事業者番号	0202	事業所番号	020201
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	さいたまスーパーアリーナ及びけやきひろば		
事業所所在地	市区町村	さいたま市中央区	
	字・地番	新都心8番地	
産業分類名(中分類)	80 娯楽業		
分類番号(中分類)	80		
事業活動の概要	事業内容	スーパーアリーナ：コンサート、スポーツイベント、見本市、展示会、集会などを行う場の提供 けやきひろば：飲食、物販などの商業施設	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	~	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上とする。かつ、「第3期埼玉県地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」での削減目標(2030年度までに28%以上削減)を適用し、計画期間において、前年度比1.6%以上削減する(令和6年度までに9,753 t-CO ₂ 以下に削減)。				
	その他ガス					
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	40,960	t-CO ₂			
	削減目標量(計画期間合計)	10,240	t-CO ₂	事業所区分	第1区分-(2)	

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	~	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	3,517	5,140	5,328		

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	計画期間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源 CO ₂	6,464	9,436	9,773		
前年度比 (%)	—	46.0	3.6		
その他ガス	非エネルギー起源 CO ₂				
	メタン				
	一酸化二窒素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六フッ化イオウ				
	三フッ化窒素				
温室効果ガスの合計	6,464	9,436	9,773		

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況 (エネルギー起源CO₂)

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

	計画期間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	52.5528	22.9586	21.5264		
前年度比 (%)	—	-56.3	-6.2		
活動規模の指標単位					
イベント開催延べ日数	123.00	411.00	454.00		

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	<p>・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、イベント開催日数が例年の2割程度と大幅に減少したため、令和元年度と比較し、エネルギー起源CO₂が約40%減少した。</p> <p>・照明のLED化改修工事が計画どおり実施され、設備改修に伴う省エネルギー化が進み、エネルギー起源CO₂の減少に寄与した。（原油換算エネルギー削減見込み量84kL/年）</p>
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	<p>・コロナウイルス感染拡大以前（2019年度以前）と比較するとまだイベント開催日数は8割程度だが、オリンピック競技会場としても長期使用されイベント開催日数は前年度から3倍以上に増加。それに伴いエネルギー起源CO₂も46%の増加となっている。</p> <p>・照明のLED化改修工事が計画どおり実施され、設備改修に伴う省エネルギー化が進み、エネルギー起源CO₂の減少に寄与した。（原油換算エネルギー削減見込み量26kL/年）</p>
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	<p>・イベント日数が前年度より10%増加したため、エネルギー起源CO₂も増加となっている。</p> <p>・照明のLED化改修工事が計画どおり実施され、設備改修に伴う省エネルギー化が進み、エネルギー起源CO₂の減少に寄与した。（原油換算エネルギー削減見込み量42kL/年）</p>
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減		
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減		

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	10,240	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO ₂ /年)
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第1区分-(2)
----------	----------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位: t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計	
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	10,240	10,240	10,240	10,240	10,240	51,200	
	目標削減率の 緩和措置							
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%		
	排出上限量 (C = Σ A-D)							40,960
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))							10,240
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	6,464	9,436	9,773			25,673	
	削減率 (F = (A - E) / A)	36.88%	7.85%	4.56%			—	
	排出削減量 (G = A - E)	3,776	804	467			5,047	
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済				

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	分 号	区 分 名 称				
			大 区 分 中 区 分				
1	150200		受変電設備、照明設備、電気設備 15_照明設備の運用管理	LED照明改修 (R2)	R2	R2	
2	150200		受変電設備、照明設備、電気設備 15_照明設備の運用管理	LED照明改修 (R3)	R3	R3	
3	150200		受変電設備、照明設備、電気設備 15_照明設備の運用管理	LED照明改修 (R4)	R4	R4	
4	180200		その他 18_その他	ペーパーレス化の推進	R4	R4	
5	150200		受変電設備、照明設備、電気設備 15_照明設備の運用管理	LED照明改修 (R5)	R5		
6	150200		受変電設備、照明設備、電気設備 15_照明設備の運用管理	LED照明改修 (R6)	R6		
7	150100		受変電設備、照明設備、電気設備 15_受変電設備の管理	特別高圧受変電設備改修	R6		
8	160200		昇降機、建物 16_建物の省エネルギー	昇降機動力改修	R7以降		
9	160200		昇降機、建物 16_建物の省エネルギー	昇降機の更新 (省エネ性能の高い方式に変更)	R7以降		
10	130200		空気調和設備・換気設備 13_空気調和設備の効率管理	空調機動力改修	R7以降		
11	150100		受変電設備、照明設備、電気設備 15_受変電設備の管理	高圧変電設備改修	R7以降		
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

